

センター通信



私の幼稚園経営

伊丹市立稲野幼稚園
園長 石原 隆典

幼稚園にいと子どもの変化がよく見えます。幼児は褒め言葉を肥やしにして成長します。「偉いね」「すごいね」を聞くと背筋が伸び、「もうお兄ちゃん、お姉ちゃんだね」という一言には、まるで魔法にかかったように行動まで変わります。幼児期の成長は小中学校などより早い速度で、まるで雨後のタケノコのようなのです。

しかし、褒め言葉はどんな場合でも通用するというわけではありません。鉄棒も竹馬もすでにクリアしているのに「すごい、すごい」と言ったり、雨の日に登園してくるだけで「よく頑張ったね」と言ったりすると、途端に子どもの表情は曇ります。実態を踏まえない乱用は却って意欲を削いでしまいます。単なる結果ではなく、努力の過程を認めながら、褒める、見守る、叱るのバランスを大事にしていかなければなりません。

幼稚園で心がけているのは、たくましい心と体の発達です。身体は毎朝のラジオ体操、11月から園庭15周のマラソンも日課として鍛えています。とにかく歩く、体を動かすことを基本としています。心は怖さの克服です。水、虫、夜、高さに対する恐怖心を取り除き自信に変えさせることが幼児期には大事です。水を怖がる子どもにはたとえ嫌がってもその楽しさを教えてやりたいし、虫が怖い子どもには命の尊さと自然の崇高さを教えながら、手にとって触らせて親しませたいものです。発達段階を踏まえた指導も大事ですが、大人になったら必ず自転車に乗れるわけではありません。柔軟な子どもの時こそ怖さを克服し、自信を付けさせることで、大きな成長へつながるのだと思います。

子どもに生きる力を身につけさせることを国は提唱しています。生きる力の要素はいろいろありますが、欠けてはいけなは忍耐力です。我慢すること、譲ること、転んでも立ち上がること、失敗しても再度挑戦する意欲などの力はすべての能力を支える土台になるのではないかと思います。

昔は時代がいい教師でした。物を大事にすること、他人を傷つけないこと、親を尊敬すること、夢や希望をもつことも、何でも時代が教えてくれました。地域も家庭も学校も、「厳しい世の中で子どもを一人前にする」ことを共通に考えていました。いまは、時代にも地域にもあまり期待できません。家庭や学校園がマスコミの価値観に振り回されないで、確たる教育理念を持って子育て、教育をしていかなければなりません。世の中のすべてのことは幼稚園の砂場の中にあつたという名言があります。それほど幼児期の教育は影響力が大きいということを肝に銘じています。

平成26年度伊丹市少年育成協会総会・研修会盛大に開催

5月27日(火)、スワンホールにおいて、伊丹市少年育成協会の第48回定期総会が、149名の出席のもと盛大に開催されました。昨年度の事業報告の後、本年度の青少年健全育成と、非行防止に向けた活動方針が決定されました。本年度の重点目標は下記のとおりです。

- (1) 地域・企業ぐるみの積極的な愛護活動の推進
- (2) 青少年の悩みを理解し、適切な助言と補導のための研修の推進
- (3) 青少年に有害な社会環境の浄化活動の推進
- (4) 会員を拡大して、組織の強化活動を推進

総会後の全体研修会では、伊丹警察署長 築添史一(ちくぞえ ひとかず)氏を講師として、「少年非行の現状と大人のかかわり方」と題した講演がありました。



スマートフォンに関わる犯罪被害や、万引き、自転車盗など初発型犯罪が増えていることなど、伊丹市の少年非行の様子をお話しくださいました。

また、自転車盗の増加、自転車絡み人身事故の多さなどを危惧されており、「たかが自転車、されど自転車」と話されたのが印象的でした。

少年の健全育成は少年の指導だけでなく、大人のあり方が大切であること。地域・家庭・社会・警察が一体となって子どもを育てる必要があること。そして、子どもたちが心を開けば必ず立ち直る、大人の本気度が重要だと語られました。

少年愛護センターに

- ① 伊丹市少年補導委員連合会
 - ② 伊丹市少年育成協会
 - ③ 伊丹市青少年を守る店連絡協議会
- 上記の3つの団体の事務局があります。

この3つの団体は、活動形態は異なりますが、互いに連携を深めつつ、それぞれの立場から青少年の健全育成に取り組んでおります。

いずれの組織も歴史が古く、伊丹市少年補導委員連合会は昭和39年11月に、伊丹市少年育成協会は昭和41年11月に、伊丹市青少年を守る店連絡協議会は昭和59年7月にそれぞれ設立されました。各団体ともに設立当初の青少年健全育成への思いが、現在まで引き継がれています。

これからも、地域・学校・家庭と共に関係機関・関係団体とも、今まで以上に手を合せて、伊丹の青少年を見守っていきたいと思います。

◆街頭補導の件数 《平成26年5月》

	幼小	中	高他	大人	計
声かけ・会話等	303	48	24	54	429
遊びに関して	25	10	16	1	52
ぐ犯・不良行為	0	3	0	0	3
交通に関して	21	27	27	75	150
計	46	40	43	76	205

◆電話・来所相談の件数 《平成26年5月》

	電話相談	来所相談
件数	16	3
前月比	+5	±0
累計	27	6

◆白ポスト回収状況 《平成26年5月》

	数量	前月比	累計
有害図書	276	+80	1,740
有害AV	791	+319	
計	1,067	+399	

白ポスト設置場所(市内16箇所)

車塚公園・阪急稲野駅・南センター・阪急新伊丹駅・阪急伊丹駅・いたみホール
 荒牧バラ公園バス停・荒牧バス停・北センター・中野西公園・裁判所前・山田バス停
 女性児童センター・JR伊丹駅1F・JR北伊丹駅南口駐輪場・西桑津バス停

6月の主な行事

- 6日(金) 少年補導委員連合会役員会・理事会
- 6日(金) 桜台ブロック夜間特別補導
- 10日(火) 少年を守る日・市内広報
- 12日(木) 第1回愛護補導連絡会(全体会)
- 16日(月) 伊丹市青少年を守る店連絡協議会総会・研修会
- 17日(火) 少年進路相談員連絡会
- 18日(水) 合同教育相談
- 19日(木) 少年補導委員正副理事管外視察研修
- ～20日(金) 修(松本少年刑務所)

- 24日(火) 有害図書回収
- 25日(水) 三市(川西・宝塚・伊丹)中学校生徒指導連絡会
- 25日(水) 伊丹ブロック夜間特別補導
- 27日(金) 神戸保護観察官駐在
- 27日(金) 花里ブロック夜間特別補導
- 学校補導連絡会 東中(11日)、西中(10日)、南中(10日)
北中(9日)、天中(12日)、松中(25日)
荒中(10日)、笹中(3日)
- 少年進路相談員連絡会 県阪神昆陽高(2日)、市伊丹高(19日)
県伊丹北高(20日)、県伊丹高(26日)
(高校訪問) 県伊丹西高(27日)

※「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市少年愛護センター(Tel: 780-3540)までお寄せください。